

平成 20 年運営方針

1 運営方針

平成 20 年度は、安全で安心して暮らせる地域、地域の皆さんが北条の地に愛着を持ち、心のよりどころになるような事業に努めてまいります。

(1) 「北条復興デザイン」の策定

前年度からの継続事業。地域の特性を生かし、住民起業や地域連携を促進させながら「震災復興基本方針」の取りまとめ。

「暖暖」改築プランと事業領域の決定

開設目的を見失わず、地区高齢者向けの惣菜宅配システムの構築を最優先とする。

北条大まち歩き (5 月 18 日予定)

名所・旧跡だけでなく、普段見逃しがちな地域の宝物や磨けば光るものを見つけ、街づくりに活かす。

コミュニティビジネス講座の開設

(2) 「暖暖」改築・・・先導支援事業

復興デザインで描いた設計プランに基づき全面改装。併せて「暖暖」の建物を購入。(地主は別で賃貸)

改築オープンは中越地震 4 周年目にあたる 10 月中頃を予定。

(3) 「つらら茄子」の商標登録と生産化に向けて・・・被災地有域復興支援事業(地域特産化・交流支援)の活用

茄子の栽培と生産・・・今年度は試行的に数軒の農家に栽培委託。育苗方法や生産量、生産時期等の研究
商標登録とロゴマーク

「つらら茄子」で商標登録出願中(9 月頃に登録完了予定)。併せてロゴマークを作成し商標登録予定。地域のイメージアップを図る。

茄子の成分分析・・・茄子の特性を知り、アピールするために成分分析は必須。

茄子の消費拡大

「つらら茄子」を使った料理コンテストを実施。優秀作品のレシピを作り、消費拡大に。

(4) いにしえロード看板整備

NHK 大河ドラマに関連し、北条城を訪れる人が増えている。現在のいにしえロード看板も朽ちてきているので、看板整備を行う。併せて、ロードの名称を「北条毛利いにしえロード」に改称したい。

2 活動計画

(1) コミュニティ総合事業

- ・ 第 29 回コミュニティ祭り 10 月
- ・ 震災復興・スノーフェスタ 2 月

(2) 専門事業推進室

地域環境室(自然と生活環境が調和する「うるおい」と「やすらぎ」を感じるまちづくり)

・ クリーン作戦 ・ 不法投棄実態調査と投棄防止の看板の見直し ・ コミュニティセンター斉清掃 2 回

・ 花苗の播種、移植、育苗、販売 ・ 「暖暖」改装に伴う環境美化に協力

教育振興室(人が輝き、地域を磨く、生涯学習によるまちづくり)

・ いにしえロード看板整備 ・ 生涯学習学級と市活動事業補助金の活用

・ 初心者のためのパソコン教室開設(中越復興市民会議) ・ 家庭教育学級の開催

ふれあい推進室'ふれあいと協同で、笑顔生まれるコミュニティ)

・ 地区民親睦体育祭の開催(6 月 8 日) ・ 団体・サークル代表者会議 ・ 地区民親睦旅行

・ 祇園柏崎まつり民謡流しへの参加 ・ 民謡流し踊り講習会開催 2 回

住民起業室(地域資源を活かした活力あるまちづくり)

・ 復興デザイン策定会議出席(主体) ・ 北条ふるさと市場「暖暖」の改築オープンイベントの開催

福祉対策室(住みなれた地域で支え合ってともに生きるまちづくり)

・ 愛友会支援および家庭教育学級(柏崎の教育 3・3・3 運動)の推進

・ 「暖暖」改築と併せ、宅配システム構築に伴う高齢者の需要調査の支援(復興デザインと連携)

山なみ編集室(地域が見える広報誌の発行)

・ コミュニティ広報「山なみ」の毎月発行(編集・打ち込み・印刷・配布)

安全対策室(安全・安心のまちづくり)

・ 災害対策本部として、無線訓練(毎月全町内会) ・ 各町内会の防災組織図変更に伴う名簿作成の支援

(3) つらら茄子

事務局が中心となり、生産者や指導者を含めたプロジェクトチームを結成。併せて、復興デザイン会議と連携を図りながら展開。